

ご意見・ご要望コーナー

平成27年11月27日

幼保連携型認定こども園ひまわり

保護者アンケートやご意見箱への投書等にお答えするコーナーです。

●保護者から「緊急連絡について」

- ・子供が発熱した時に連絡してほしい体温を園に知らせてあるにもかかわらず、その体温に達していないのに連絡がくるのは何故ですか？
- ・病院が閉まっている時間に連絡されても困ります。他の保護者の方は納得されているのでしょうか？

○認定こども園の返答

お仕事中に認定こども園から電話があると大変驚かれると思います。また、「連絡を受けて慌てて受診したのに、熱もなく元気だった。」「園から連絡がある度に、職場に迷惑をかけるので申し訳ない気持ちになる」といった事もあるかと思えます。園職員も保護者の事情を考えると連絡すべきか判断に迷うことが多々あります。

入園・進級の際にお知らせ頂く「連絡してほしい体温」は、お預かりしている子供達の体調が悪くなった時に保護者へ連絡する目安としています。あくまで目安ですので、連絡する熱に達していなくても、顔色や機嫌、食欲、全身状態、既往歴、流行している感染症等から、保育教諭や看護師が保護者にお伝えした方が良いと判断した場合は、連絡を入れるようにしています。逆に、連絡する熱に達していても、少し様子を見守っても大丈夫だと判断した場合には連絡を入れ、保護者のお仕事の都合ももうかがった上で、園でお預かりして安静にして過ごすといった対応を取ることもあります。

保育教諭や看護師が保護者の都合に配慮するあまり、連絡をためらい、園でお預かりしているうちに重症化して、「処置が早ければこんな事にはならなかったのに…」という事態は絶対に避けたいと考えています。迎えに来て頂くにしても、園でお預かりするにしても、認定こども園と保護者が密に連絡を取ることが大切です。保護者の皆様から大切な子供達の命を預かる以上、最悪の事態も想定して判断していますので、結果的に連絡の必要が無かったということもある事は、どうかご了承下さい。

●保護者から「けんかへの対応について」

- ・友達とけんかする経験も大切だとは分かっているものの、我が子の噛みつかれた跡を見ると親として、やはり悲しい気持ちになります。
- ・男の子達は戦隊ごっこが好きで叩く、けるといった事があると思いますが、先生方は止め時をどう判断していますか？

○認定こども園の返答

日々、認定こども園でくり広げられる様々な出来事には、友達同士のけんかもよく見られる光景です。小さい子なら噛みついたり、引っ掻いたりすることで自分の思いを表しますが、成長するにつれて少しずつ言葉で自分の思いを相手に伝えられるようになってきます。

子供の噛みつかれた跡、引っ掻かれた跡をご覧になった保護者の方々が、心配するお気持ちもよく分かります。しかし、けんかは子供の成長に欠かせないものだとも考えています。けんかと仲直りを繰り返しながら子供達は様々なことを学びます。けんかのルールを学び、感情をコントロールする力を身につけ、自分と相手の気持ちに気付き、仲直りの仕方やそれを言うタイミング、お互いの妥協点の見つけ方等々。ですから、子供のけんかを頭ごなしに止めさせるのではなく、ある程度は、けんかを見守る必要があります。もちろん、けんかによって身体を大きく傷つけるもの、後々まで傷が残るものは、すぐに止めます。友達と本当に仲良く遊べる力、つまり良い人間関係を築く能力は幼い頃からけんかと仲直りを繰り返すことが必要だということをご理解ください。

戦隊ごっこ（戦いごっこ）も男の子が大好きな遊びで、友達との関わりが本格化する4・5歳ごろから多く見られます。ごっこ遊びがエスカレートして、本当のけんかになってしまうこともよくありますが、どこまでやったら相手が痛い、痛いのであれば相手を思いやり、手加減をする。体で経験したことを通じて、子供達は人との関わり方を学んでいきます。大人は危険の無いように注意を払いながらも、温かく見守ることが必要なのだと考えます。止め時はけんかと同様に大きなけがにつながると判断した場合に止めるようにしています。